

アフガン政権崩壊

米、国力低下を自ら証明

タリバンと中ロ接近か

アフガニスタンで反政府武装勢力タリバンが再び政権を掌握したのは、バイデン米政権がタリバンの勢力拡大を看過し、駐留米軍の撤退方針を最後まで曲げなかったためだ。厭戦ムードが高まる中、自ら始めた戦争に背を向けて「世界の警察官」の地位を放棄。国力低下を米国自身が証明した。20年の犠牲を経てアフガンは元の姿に引き戻された。（1面参照）

アフガン戦争で米国は1兆ドル（約109兆円）ともされる戦費をつぎ込み、2千人以上の米兵の命を失った。負傷者も2万人を超えた。中、トランプ前政権はタリバンとの和平協議に踏み切ったが、結果的には米軍撤退を約束させられ、政権を奪い返されただけだった。

米中枢同時テロを起こし

勝利を収められなかった米

バイデン外交信用失墜

【ワシントン共同】「人

権重視」や「世界的な指導力回復」を掲げながら、アフガニスタン情勢に沈黙し続けるバイデン米大統領への批判が高まっている。米軍増派でかえって駐留規模が拡大。政権幹部がテロ組織弱体化の目的は達成したと主張する一方、テロ組織の台頭は予測より早まるとの見方も出ており、認識のずれも顕在化した。

ワシントン近郊の山荘で夏休み中のバイデン氏は15日、アフガン情勢に一切コメントしなかった。反政府武装勢力タリバンの女性らに対する抑圧的な統治を放置すれば、国際社会の信用失墜にもつながりかねない。

撤退する米国民の安全確保のため、12日からほぼ連日で増派を決定するなど対応は後手に回る。

東しアフガンが安定することになれば、皮肉にも中国の一層の台頭を招くことになりかねない。（ワシントン共同）



市民ら国外脱出求め空港に殺到

【カブール共同】ターバ

権中枢へ乗り込み、国軍兵士は持ち場を捨てた。反政府武装勢力タリバンが進攻したアフガニスタンの首都カブールは15日、銃声とヘリコプターの旋回音、脱出する市民の車の渋滞で緊迫と混沌に包まれた。

空港に向かう幹線道路は車で埋め尽くされ、市民らは現金詰め込みガニ氏脱出？

現金詰め込みガニ氏脱出？

【モスクワ共同】ロシア通信は16日、アフガニスタンのガニ大統領が、車4台とヘリコプターに現金を詰め込んで同国を脱出したと伝えた。在アフガニスタンのロシア大使館広報官の話としている。車4台が現金でいっぱいになったため、残りをヘリコプターに積み込もうとしたが入りきらず、現金の一部は飛行場に残されていた。

ガニ氏は15日、妻や側近とともに出国したと報じられている。

ガニ氏を支えてきた女性のハミディ教育相代行は国外脱出を「裏切り」と批判。タリバンの報道担当者が女性の権利を尊重すると主張していることについては「（タリバンが）極端な女性差別を続けた」と過去の経験から信じ難い」と語った。

によると、軍用機に向かうとする群衆に米兵が威嚇射撃をする一幕もあった。市内に女性の姿はほとんどなく、カラシニコフ銃を手にし、黒や白、ベージュのターバンを頭に巻いた兵士の数が一気に増えた。主婦ファティマさん(35)は「昨夜は怖くて一睡もできなかった」と明かした。ただ市民への暴力は報告されず、恐怖政治を敷いた「昔とは違う」との声も。